

【3つの共同目標】

① 日本の経済を国民本位に転換し、暮らしが豊かになる日本をめざします
② 日本国憲法を生かし、自由と人権、民主主義が発展する日本をめざします
③ 日米安保条約をなくし、非核・非同盟・中立の平和な日本をめざします

革新・愛知の会

第286号 2019年3月10日

平和・民主・革新の日本をめざす愛知の会

〒456-0006
名古屋市熱田区沢下町9-7労働会館東館306
Tel (052) 872-6918 FAX (052) 872-6919
Eメール kakushin-aichi@roren.net
http://www.kakushin-aichi.jp/

インタビュー

原発推進のねらいー事実を知り繋がって！

過小評価される内部被ばくの影響

子どもに大きな影響が
私の専門はアメリカ史、冷戦時代の核問題の研究です。戦争を好む人たちが緊張をもたらすことに危機感をもっていました。1950年代を中心に世界的核実験は、とくに子どもに大きな影響があるとわかっていました。
2011年3月、東京の小金井市に住んでいましたが、報道以上にとんでもない事態が起きていることを知り、3月15日に当時1才6ヶ月の子どもと大阪の実家に避難を



福島原発事故3・11から8年目を迎えます。アメリカ公文書館に通いつめ、核開発の膨大な機密解除文書から原発と核兵器推進体制を研究されている高橋博子さんを名古屋大学におたずねして話を聞きました。

たかはし ひろこ
高橋 博子 さん

名古屋大学大学院法学研究科研究委員。アメリカ史専攻。日本平和学会会理事。広島平和記念資料館資料調査研究会委員、第五福竜丸平和協会専門委員。

(聞き手・岩中美保子 写真撮影 山本晃子)

放射性降下物データが公表されない

ヒロシマナガサキの放射性降下物の問題、「黒い雨」残留放射性、内部被曝の問題をずっと研究し原爆症認定集団訴訟へも意見書もだしました。核実験による放射性降下物の問題を研究していましたので広い範囲で、局所的には高い

しました。3月15日に水素爆発、その後、三鷹市の水道汚染が検出され、東京都の水道は赤ちゃんには使えなくなりました。

その後、1950年にICRP(国際放射線防護委員会)が発足します。イギリスのチャリティ団体と登録されていますが、被災者のための団体ではありません。ここで作成された防護基準がずっと使われてきました。

「ICRP1990」の勧告に基づいて、年(二面へ)

1946年にできたアメリカのNCRP(全米放射線防護委員会)はマンハッタン計画にたずさわった核開発、原発推進の科学者が多くいる委員会です。

年間20ミリシーベルト

線量がだと予測しましたが政府が全然公表しませんでした。ドイツ、ノルウェーが放射性降下物がどの方向に流れているのか公表していましたが、2011年の夏にはそのサイト自体が閉じられたり、報道されなくなり危機感を持ちました。

平民の暮らし

2月17日東京で開催された、「市民連合全国市民意見交換会」に参加してきました▼14日に「立憲野党と市民連合の意見交換会」が行われた直後でもあり、中央レベルでの直近の状況を知ることができました▼「五党一派の参加」のうえに、参院選1人区での一本化を確認し、市民連合が七項目の政策を提示したことなどです▼同時に各地の状況の意見交換では、複数区での都道府県での「市民と野党の共闘」は、中央での結束はそのままには行かず、どこも「連合との関係」や「脱原発での対応」で苦勞しており、愛知だけが特に遅れているわけでもないと感じました▼市民と野党の共闘には、①市民の輪をつなぐ②市民と野党をつなぐ③野党と野党をつなぐの「三つのつなぐ」があり、小選挙区ごとにそのための核が必要ですが▼なにより安倍改憲許さないため、参院選で最低でも立憲野党で三分の一以上の議席を絶対取るために。
(西村秀一革新・愛知の会代表世話人、緑平民懇代表世話人)

わが街の革新

隔月掲載です。

一宮革新懇
柴田 伸治



一宮革新懇は、2019年1月の市長選をどう闘うか政治革新、要求実現という立場でばらばらに考えるのではなく、一緒に市長選を闘うことを確認し、選挙で中心的に活動をしました。

要求実現をめざした 一宮市長選

許すわけにはいかない候補者を立ててたかうことをきめ、みんなの会事務局長、一宮革新懇の会員の伊藤さんが立候補の決意表明をされました。結果は、いとう幸康15,059票 得票率17.8%、中野正康69737票 投票率27.9%

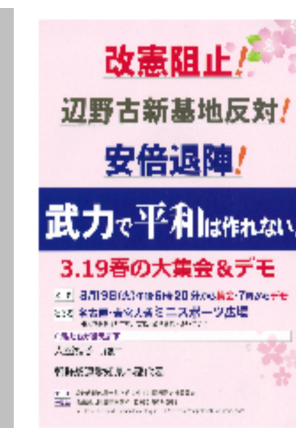
課題も多くありますが、一宮革新懇として市長選を中心的にたたかったことを教訓にしてこれからも地域で活動を進めていきたいと思っています。

安倍政権への批判の1票になるという点での押し出しは、不十分でした。中野市政に対する批判票もあると思いますが、1万人の人たちが、政策に共鳴して支持してくださったことに確信を持ち、その人たちを見つけ出し、県会市会支持者にしていくことが求められています。

「公立保育園の園を守る」「消費税反対」「憲法9条改憲に反対し、平和なまちづくり」です。12月7日、みんなの会(市長選をたたかう市民組織)の代表世話人会で、今度の市長選挙の持つ意味を再度議論し市民の要求に冷たく、一向に市民の意見を聞かない市政を

35%です。相手陣営は、オール与党体制。準備4週間のたたかいでよくこの票を勝ち取ったといえます。得票目標は、25,000票、得票率は20%をめざしましたが、それには及びませんでした。わたしたちの取り組みの遅れから選挙の争点を鮮明にすることが出来ず、掲げた政策について、もつと宣伝が行き渡れば、大きな争点になったと思います。

憲法と自衛隊DVD ぜひ、活用を



お申し込みは
日本電波ニュース社
☎03-5765-6810

改憲阻止！
辺野古新基地反対！
3.19春の大集会&デモ
18:20～

☆沖縄県民投票支援カンパ ありがとうございました。

2月24日開票の名護市辺野古米軍基地建設の埋め立ての賛否を問う沖縄県民投票で圧倒

的多数の「反対」が示されました。全国革新懇、革新・愛知の会をはじめ各地

の革新懇も積極的に支援をおこないました。革新・愛知の会からはみなさんから寄せられた募金8万円(2/18現在)を送りました。支援募金のご協力ありがとうございました。心よりお礼を申し上げます。

2019連続 憲法講座 いまこそ憲法

* いずれの回も

13:30～16:30

* 参加費

2500円 1回 500円

☆会場
労働会館
東館ホール

第1回3/16 安倍9条改憲をめぐる情勢と阻止闘争の課題

・五十嵐 仁(法政大学名誉教授)

第2回4/6 改憲発議阻止の展望—市民と野党の共闘

・高田健(総がかり行動全国市民アクション呼びかけ人)